



平成 20 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ジョイント・コーポレーション
代表者名 代表取締役社長執行役員 東海林 義信
(コード番号 8874 東証第1部)
問合せ先 取締役専務執行役員
グループ経営企画室長 岩谷 健一郎
(TEL 03-5759-8874)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 11 月 13 日開催の取締役会において、平成 20 年 9 月 8 日に公表した平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)及び通期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の業績予想(連結・個別)の修正を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1.平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間・通期業績予想(連結・個別)の修正について

(1)連結業績予想の修正

平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
前回発表予想(A)	68,200	24,200	26,000	28,500
今回修正予想(B)	70,422	29,648	32,075	40,432
増減額(B - A)	2,222	5,448	6,075	11,932
増減率(%)	3.3%	-	-	-
(ご参考) 前年同期実績(平成 19 年 9 月中間期)	87,374	16,425	14,357	8,331

平成 21 年 3 月期通期連結業績予想の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
前回発表予想(A)	145,500	23,600	27,500	32,000
今回修正予想(B)	129,800	28,500	32,800	40,800
増減額(B - A)	15,700	4,900	5,300	8,800
増減率(%)	10.8%	-	-	-
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	187,785	27,555	23,060	9,112

(2)個別業績の予想

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
前回発表予想(A)	45,100	18,000	19,700	20,900
今回修正予想(B)	46,551	25,100	27,517	33,654
増減額(B - A)	1,451	7,100	7,817	12,754
増減率(%)	3.2%	-	-	-
(ご参考) 前年同期実績(平成 19 年 9 月中間期)	32,038	5,494	4,274	2,508

平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
前回発表予想(A)	89,100	18,600	21,900	24,200
今回修正予想(B)	79,100	25,400	29,400	33,600
増減額(B - A)	10,000	6,800	7,500	9,400
増減率(%)	11.2%	-	-	-
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	99,709	12,649	9,722	2,830

2.修正の理由

(1)連結業績予想

当社が事業を展開しております不動産業界におきましては、地価、建築費の高騰により事業の収益性が悪化する一方、急激な信用収縮も重なり、不動産の流動性は急速に低下してきております。このような状況下、不動産市況は今後しばらく厳しい状況が続くと考えております。

当社におきましても、不動産市況の想定以上の急速な悪化を棚卸資産の評価に反映した結果、平成 20 年 9 月 8 日公表値におきましては、188 億円と予想しておりました評価損が 237 億 58 百万円の計上見込みとなりました。また、35 億円と予想しておりました金融子会社における不動産に特化した営業貸付金の貸倒引当金は、42 億 11 百万円の計上見込みとなりました。

この結果、平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の売上高は、前回予想に比べ流動化事業における物件売却が増加したため 704 億 22 百万円となる予定ですが、前述の棚卸資産の評価損や貸倒引当金の計上等により、誠に遺憾ながら、営業損失は 296 億 48 百万円、経常損失は 320 億 75 百万円となり、繰延税金資産の取崩し等による法人税等調整額 58 億 95 百万を計上したことにより、当期純損失は 404 億 32 百万円となる見込みです。

また平成 21 年 3 月期通期の業績予想につきましては、販売不振による売上高の減少や利益率の低下等により連結売上高は、売上高は、1,298 億円、営業損失は 285 億円、経常損失は 328 億円、当期純損失は 408 億円となる見込みです。

(2)個別業績予想

連結業績予想の修正の理由に記載のとおり、平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間の売上高は 451 億円、棚卸資産の評価損と金融子会社への貸付金の貸倒引当金の増加により、営業損失は 251 億円、経常損失は 275 億 17 百万円、当期純損失は 336 億 54 百万円となる見込みです。

平成 21 年 3 月期通期の売上高は、791 億円、営業損失は 254 億円、経常損失は 294 億円、当期純損失は 336 億円となる見込みです。

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上